

兵庫県教育委員会 令和元年度 身体障害者社会学級における実践研究

兵庫県身体障害者社会学級事業について

- ・ 視覚障害者（青い鳥学級）、聴覚・言語障害者（くすの木学級）、進行性筋ジストロフィー症者（たけのこ学級）を対象に、社会人として幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、広く県民との交流の機会を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する場を提供する。
- ・ 1年目の取組で明確となった成果と課題をもとに、「障害者のための活動」（公助による支援）から「障害の有無にかかわらず共に学び続けることができる活動」（共助による連携・協働）へ向けた新たな障害者の生涯学習の推進を図る。

何を学ぶか(学習内容): 「教養・文化」「実践・技能」「健康」「見聞(学外研修)」「交流(コミュニケーション)」

青い鳥学級(視覚)

- ・ 学級数等: 6学級8教室
- ・ 開設場所: 6地区(公民館等)

くすの木学級(聴覚・言語)

- ・ 学級数等: 6学級7教室
- ・ 開設場所: 6地区(公民館等)

たけのこ学級(肢体)

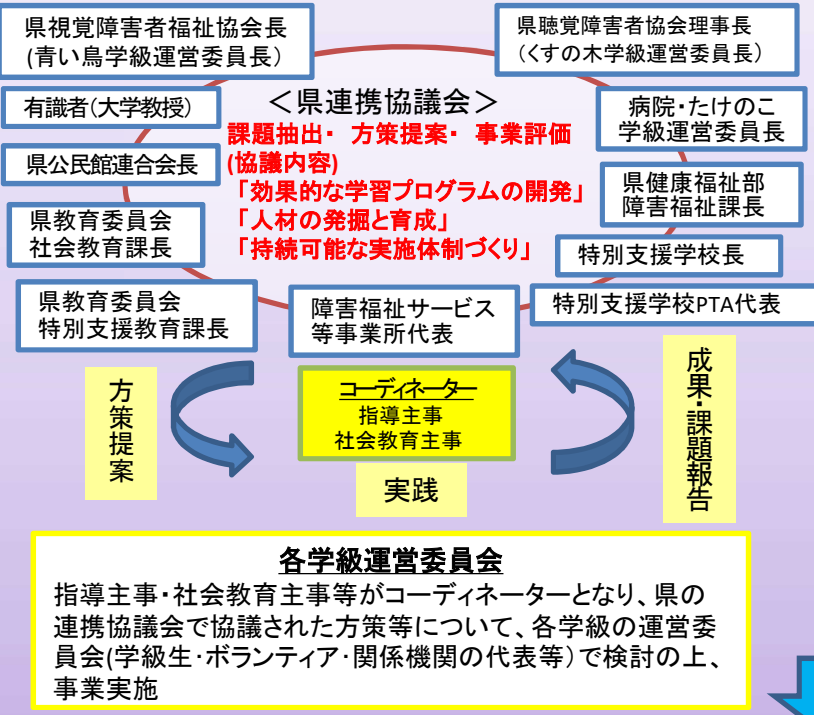
- ・ 学級数等: 1学級1教室
- ・ 開設場所: 病院



青い鳥学級「小学生とのニュースポーツ大会」

研究で得たモデルを活用し
全県展開(全市町)

関係部署・機関・団体等との連携体制の構築



研究内容

コーディネーター・ボランティア等の人材配置・活用・育成

- ① コーディネーター等(事業担当者含)による情報交換会の実施
- ② 各学級の効果的な取組の情報共有

活動の企画・運営の効果的な実施プログラム

- ① 障害の有無に関わらず参加でき、連続性、継続性のあるプログラムの開発
 - ・ 公民館、老人会、婦人会など団体と連携した交流講座
 - ・ 公民館の一般講座と一緒にを行う講座。(合理的配慮の提供)
- ② 障害種別を超えた連続性、継続性のあるプログラムの開発
 - ・ 特別支援学校の生徒たちの交流講座、卒業生との交流講座
 - ・ 小学校や特別支援学校に福祉学習として実施する出前講座
- ③ 若者世代の参加促進に向けたプログラム等の開発
 - ・ 若者が気軽に集い、学びたいことが学べる場の創出
 - ・ 仕事や生活の不安や悩みを相談できる場づくり

共に学び、生きる共生社会コンファレンス

テーマ: 障害があってもなくても、もっと自由にもっと楽しく学ぶ
～共に学び、生きる共生社会に向けて～
内容: ミニ公演、シンポジウム、ポスターセッション、分科会



障害の有無にかかわらず、共に学び続けることのできる共生社会の実現